

明けまして おめでとうございます

会員の皆さまには、健やかに新しい年を
お迎えのこととお慶び申し上げます

JP労組新潟連協退職者の会

会長 戸田 庄一



昨年は皆さまの多大なご協力により、J P 労組の二人目の組織内議員となる「小沢まさひと」参議院議員を誕生させることができました。

また新潟選挙区では、野党統一候補「打越さく良」さんの勝利にも、大きく貢献いただきました。

あらためて、皆さまの力強いご支援に対して感謝申し上げます。

昨年は、かんぽ生命をはじめグループ各社の課題が表面化した年でもありました。

小沢議員には、郵政各社の課題はもちろん、年金や医療・介護など高齢者の課題、そして何より安倍政権により脅かされ続けている平和と民主主義そして憲法を守るために、先輩である難波議員とともにご奮闘されることを大いに期待いたします。

昨年は、全国で自然災害が頻繁に発生しました。

信越においても、6月の山形県沖地震では、村上市が震度6強の激震に襲われ、多くの家屋等が被災しました。

10月の台風19号では、長野市近郊の千曲川堤防が決壊し、多くの家屋が流失・損害を被るとともに、尊い人命が失われました。

もはや自然災害は珍しいことではなく、何時どこで発生しても不思議ではなくなりました。

災害は他人事ではなく、自らの問題として最低限の備えをするとともに、避難を含む地域防災の取り組みの必要性を実感しました。

政治は、「おごり高ぶりここに極まれり」の状況です。

国会では、まともな議論が行われず、はぐらかしの答弁が当たり前、与党議員は政府の方針を追認するだけ、総理を「よいしょ」する質問に至っては、資質を疑う以前に恥ずかしくなります。

このような状況にした最大の要因は、国政選挙で6連勝を許してきたからで、加えて受け皿となるべき野党の混乱と体たらくが、あきらめと低投票率につながっており、私たちの運動の弱さについても反省しなければなりません。

今年中に総選挙が行われるとされています。「流れを変えるのは自らの一票」との思いで臨みます。

退職者の会は、結成から5年が経過しました。新潟の組織は順調に推移しているとの感もありますが、会員の減少、役員の高齢化等々課題も少なくありません。初心に帰り、組織の在り方全体を再検討する年にしたいと思います。

皆さまが健康でお元気に過ごされることを祈念し、年頭のあいさつといたします。今年もよろしくお願ひいたします。

本年も よろしくお願ひ申し上げます

J P 労組新潟連協
退職者の会幹事会

会 長	戸田 庄一	幹 事	渡 辺 三 利	幹 事	相 崎 重 明
副 会 長	小 林 政 秋	幹 事	中 川 健 二	幹 事	渡 辺 五 四 六
副 会 長	箱 田 節 子	幹 事	本 間 彰	幹 事	佐 藤 康 二
事務局 長	山 田 太 郎	幹 事	曾 我 勝 治	幹 事	島 田 福 男
事務局 次 長	山 岸 篤	幹 事	佐 藤 修 一	幹 事	金 勝 隆 保
		幹 事	揖 斐 健 次	幹 事	長 谷 川 茂
		幹 事	石 田 力	会 計 監 査	保 坂 良 久

2020年 新年のごあいさつ



J P 労組新潟連絡協議会
議長 木 伏 寿 幸

明けましておめでとうございます。J P 労組新潟連協退職者の会 会員ならびにご家族の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、12年に一度の亥年選挙、春の統一地方選挙及び夏の参議院選挙では、J P 労組推薦候補の当選に向けた取り組みにご支援とご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

結果は、国会をはじめとした各級議会における与党・自民勢力、安倍一強体制を崩すことはできませんでしたが、参院選・新潟選挙区では、相手候補・自民陣営の付度発言やパワハラ報道に対し、「打越さく良氏完勝」という形で、新潟の良識を全国に示したと言えます。

また、比例代表では、組織内候補「小沢まさひと」氏が立憲民主党・比例第3位という高位での勝利を果たすことができました。本当に有難うございました。



一方、日本郵政グループ内における「かんぽ不適正営業」をはじめとした数々の不祥事案が、報道により明らかになりました。

これまでの間、諸先輩方が築き上げてきた郵政ブランド「信用と信頼」を損ねたことなどに対し、深くお詫び申し上げます。

今後は、職場風土改革やチェック機能の強化など、J P 労組組織がまさに一丸となり、抜本的な見直しを経営陣に迫る覚悟です。ご理解を賜りますようお願いいたします。

設立6年目を迎え、さらにきめ細かな運動を展開されている新潟連協退職者の会ですが、現役の65歳定年制導入を控えるなど、「会員の加入者拡大」は喫緊の課題となっています。

私たち現役の情報提供や声掛けは勿論、現退一体となり取り組みを進めて参りましょう。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

本年も、何卒よろしく願い申し上げます。



あけましておめでとうございます。

退職者の会の皆さまには、健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、J P 共済生協（ポストラライフ）の取り組みに、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年は自然災害が多発した「平成」という時代から、「令和」へと元号が変わり、災害が少ない時代への幕開けとの期待も大きかったわけですが、元年早々から自然災害の猛威に直面することとなってしまいました。

ここ数年、大きな災害に見舞われていなかった信越においても、6月18日に山形県沖を震源とするM6.7の地震により、村上市で震度6強を観測しましたし、10月12日～13日にかけては、台風19号により長野県の東北信を中心に甚大な被害を及ぼしました。

J P 共済生協信越地方部

部長 米 持 正 道



被災されました皆さまに、お見舞いを申し上げますとともに、「いつ・どこで・何が起きても不思議ではない」という状況を、まさに身近に感じた年となりました。

「万が一への備え」はしっかりできているのか。この機会に改めて、ご自身のご契約内容をご確認いただければと思います。

今年は子年です。子年は十二支の最初の干支であることから、新しい運気のサイクルの始まりとも言われています。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。

本年が皆さまにとりまして、ご健勝で更なる成長の一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新潟連協退職者の会 2019年度の具体的な取り組み

新潟連協退職者の会の「2019年度の具体的な取り組み」は、昨年の参議院選挙の関係から各級機関大会や総会が2ヶ月以上遅れ、11月12日開催の「支部・ブロック代表者会議」からが実質的なスタートとなりました。

主な取り組みは、

- ① 会員拡大と現退一体の取り組み
 - ・3月1日、J P 支部三役と連協幹事による合同集会和、支部単位での協議を実施
- ② 組織慶弔制度（喜寿・米寿・死亡）の見直し
 - ・昨年12月の第1回中央幹事会で、集中討議
 - ・今年3月の第2回中央幹事会で、まとめ討議
 - ・それを受け、新潟連協では、4月の連協拡大「支部・ブロック代表者会議」で周知・討議
 - ・6月11日、J P 労組第13回定期全国大会
 - ・7月2日、退職者の会第6回全国総会で、見直し改善の議論と意識統一
- ③ 組織運営課題の検討
 - ・支部組織の再編（暫定扱いの解消）
 - ・地方総会・連協総会・連協幹事会の定数等
 - ・3月の連協幹事会、4月の支部代表者会議で集中討議し、連協総会に向け整理する
- ④ 新潟ろうきんシニア倶楽部会員拡大の取り組み

- ⑤ みらい研（政治団体）会員拡大の取り組み
 - ・会員名簿の点検と整理
 - ・整理後に目標に向けた会員の拡大
- ⑥ 会議の変更
 - ・昨年11月の支部代表者会議で決定していた4月に開催予定の「支部・ブロック間交流会」を中止し、拡大「支部・ブロック代表者会議」に変更し、前述の優先課題について意識統一を図る

第1回連協共済専門委員会を開催

昨年の12月10日、第1回共済専門委員会を開催し、次の2つの課題について検討しました。

2月25日の第2回専門委員会で、具体的な取り組み内容をまとめ、3月の連協幹事会に報告し、各支部への具体的な取り組みを要請することとしました。

- ① 旧新潟総合生協の出資金の扱い
- ② 自然災害と、どう向き合い、命と生活を守るために、どう意識を変え行動するのか

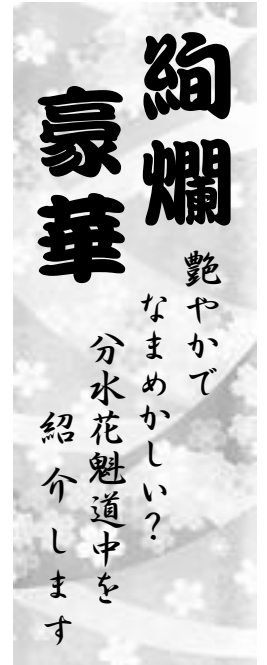
役職	氏名
委員長	山田 太郎
事務局長	山岸 篤
事務局次長	佐藤 修一
委員	高橋 延明
委員	三浦 正郎



工事によって掘られた土砂は、現在の中島、長辰、作善、越後吉田、弥彦の各地域まで運ばれ、地ならしされ、かつて胸近くまでつかって田植えをしていた田んぼが改良され、その

幕府や政府に請願し、明治になりようやく本格的な治水工事が始まりました。信濃川が蒲原平野を通り、日本海に流れ落ちる水量を調整するための分水路を作ることによって、越後平野の被害を無くすべく水路を造る工事でした。

分水おいらん道中は堤防工事から？日本一長い「信濃川」、源流は長野県で千曲川と言われ、この度の台風19号では関係流域で大きな被害を受けました。その信濃川、昔からひとたび豪雨となれば、下流にある越後平野は頻繁に水害に見舞われ、惨憺たる状態が起きていました。



一部残土が源八新田地区北側に盛土され畑となっていました。（農面道路を車で走ると、国上山の景観を隠すような小高い盛土）



さて、前置きが長くなりましたが、この大工事で分水路（新信濃川）が完成すると、地元の篤志家が築堤された堤防に数百本の桜の木を植え、（人々が土を踏み固める意味もあったとか）堤防で花見をするようになりました。

諸説ありますが、昭和の初め頃か時期は定かではありませんが、地元の花柳界の人達がふざけ半分で堤防の桜見物を、花魁が練り歩く様を真似して歩いたことが始まりだとも言われています。

毎年、県内外から約100名近い応募者の中から、「信濃太夫」「桜太夫」「分水太夫」と、花魁役が選ばれます。



豪華な衣装をまとい、高さ15センチもの三枚歯黒塗りの高下駄を履き、独特の外八文字の歩き方を披露し、「手古舞」「新造」「かむろ」「舞子」など、総勢約60名の付き人を従えて練り歩く様子は、正に豪華絢爛と言えます。

毎年、四月の第三日曜日、午前には本町通り、午後は堤防を歩き、雨天は体育館で行っています。

その衣装の素晴らしさ、花魁の時代背景、粋な遊び人達を想像しながら観賞してもらえれば、また一味違う見学になると思いますので、ぜひ一度来てみてください。

西蒲原支部（分水分会）

星野 一幸 記



がんばりびと 頑張り人紹介 ①9

今回の頑張り人は、長年登山の普及と安全対策に取り組んでいる新潟県山岳協会理事長の
楡井利幸さんです（西蒲原支部）

2018年10月 谷川岳
一ノ倉沢を登って



安全に 山を楽しむために

登山歴は、高校時代からですから50年です。新潟中央郵便局で働き出すと、すぐに市内の社会人山岳会（峡彩山岳会）に入会、主に県内の藪山や沢登り・積雪期の登山にのめり込まれました。

上部団体の新潟県山岳協会の行事や講習会に出ると必ず、白髪、白い眉、浅黒い顔をしたギョロ目の御大がいて、その指揮を執っていました。新発田局の大先輩、五十嵐篤雄氏（故人・著書に「飯豊道」）でありました。

本県の山岳界の重鎮で、その温厚な人柄と行動力で皆を引っ張り、二王子岳の遭難救助等に活躍されていました。同じ仕事の仲間、組合の仲間ということで、ずいぶんと指導を受けました。あのような人になりたいと思いました。

しかし、山は楽しいことばかりではありません。親しい仲間を2人失いました。2人とも前途ある若者で、ご両親ご家族の悲しみたるや、とても言葉で言い表せるものではありません。絶対に山で死んではならないと思いました。

私自身も墜落してロープに宙吊りになったり、足の骨折で帰ることができなかつたりした事があります。生と死は、紙一重だと思いました。

警察庁の調べにより

ますと、昨年は山で3,100人以上が遭難し、死者・行方不明者は342人です。その原因のトップは、断トツで道迷いです。

下山中に道がわからなくなり、動き回って体力を消耗し力尽きる。または、登り返すことを忘れ、下へ下へと歩けば自然に沢筋に入って滝が現れピンチとなる。迷ったら、わかる所まで引き返す（登り返す）ことが大原則です。

退職してから登山を始められる方も多いと思います。豊かな自然にふれ、体力を維持し、さわやかな汗がかけて、お金はあまりかかりません。

必ずや無事に帰ってくるために、次のことをお願いしたいのです。

- ① 一人で山に登らない
- ② 雨具・ヘッドランプは日帰りでも持ち歩く
- ③ 登山計画書を登山口のポストに1枚、奥様に1枚提出する
- ④ 普段のトレーニングを欠かさない

どうか安全登山で、自分のレベルに合ったコースを楽しんでください。

台風19号災害 救援カンパ ご協力に 感謝いたします

昨年の10月12日～13日にかけての台風19号は、これまでにない記録的な大雨を降らせ、広範囲に甚大な被害をもたらしました。

隣の長野県でも、千曲川流域を中心に各地で水害が発生し、多くの住民が被災され、今後の生活に不安を抱えています。

この被害に対し、退職者の会として全国的に緊急カンパを取り組むことになり、新潟連協では11月12日～12月10日までの短期間の取り組みではありましたが、前もって葉書で主旨を連絡した後に集金するなど創意工夫した支部もあり、多くの支援金が集まりました。

新潟連協で集約したカンパ金は連合に送金し、関係地方連合会の被災者救援活動費の一部として拠出されます。

会員の皆さまから ご協力と
ご支援をいただき
ありがとうございました



決壊した千曲川の堤防近くにある畑では沢山のリンゴが泥につかっていた(10/16午後撮)

台風19号災害 「救援・緊急カンパ」 12/10 最終集約

支部・ブロック	金額
下越	13,000円
新津	49,400円
西蒲原	55,000円
三条	20,000円
中越(長岡)	71,960円
中越(柏崎)	33,000円
魚沼	5,500円
高田	108,500円
上越	63,300円
連協幹事会	19,240円
合計	438,900円



日本画(小千谷市展)
小千谷市長賞を受賞
中越支部(長岡ブロック)
相崎 重明さん

水墨画 高田支部
斉藤 千恵子さん



投稿コーナー

(俳句)

〈句集「あゆみ九号」より〉

初春や阿弥陀の顔の穂やかに

元旦、お寺に年始に行く。外は曇ったが、阿弥陀如来本尊は穏やかなお顔をしており、今年が良い事がありそうだ。

兔跳びしたのは昔 初詣

約五十段の石段を兔跳びで郵便を配ったそんな思いでの階段の初詣で、しんどい齡となりました。

中越支部(柏崎ブロック)

角山 徳郎

(川柳)

氏神を祭る海に雪が舞う
山茶花の落下狼藉木枯らしや

高田支部

小島 昌一

俳句・短歌・川柳
手作り作品・絵手紙
写真・書道・絵画

を募集しています。応募は、葉書か適宜な用紙に「作品・支部・氏名」を記入。また、絵画・書・手作り作品は、写真に撮って封書で送付下さい。

〒951-8799 新潟中郵便局内
J P 労組新潟連協
退職者の会 まで郵送

核兵器廃絶1000万署名 4,425筆を集約する

新潟連協で、昨年の8月～11月末日まで取り組んできた「核兵器廃絶1000万署名」が、会員の皆さまやご家族等、多くの方からご協力をいただき、合計で、4,425筆を集約することができました。

ご協力いただいた今回の署名は、12月3日に連合本部に郵送しており、今年4月に開催の「核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議」にあわせ、国際連合事務総長と日本の内閣総理大臣に提出されます。

ご協力 ありがとうございます

支部・ブロック	送付枚数	集約枚数	筆数
新潟	100	103	515
佐渡	30	22	110
下越	90	94	470
新津	70	75	375
西蒲原	40	42	210
三条	50	53	265
中越(長岡)	100	240	1,200
中越(柏崎)	30	25	125
魚沼	60	66	330
高田	60	95	475
上越	70	70	350
合計	700枚×5筆	885枚	4,425筆

お知らせコーナー

今年4月12日投開票の佐渡市議会議員選挙に、現・新潟連協幹事で、前・佐渡退連事務局次長の中川健二(66歳)さんが、各方面からの要請により立候補を決意し、佐渡の繁栄に向け努力したいと訴えながら、支持拡大に奮闘中です。

(J P 労組組織内予定候補)

佐渡市に親戚・友人・知人などがおられる方は、ぜひご紹介ください。



お詫びと訂正

前号(第22号)の「お知らせコーナー」新入会員ご紹介欄に記載の、新津支部・小林さんのお名前が誤ってましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) 小林 篤雄
(正) 小林 篤夫

おめでとうございます

(2019年10月～11月) (敬称略)

慶事	月	お名前	支部
喜	10月	大橋 トシ	新潟
		成田 孝栄	下越
		後藤 雅子	西蒲原
		水野 弘子	西蒲原
		吉田 省三	西蒲原
		鈴木 輝夫	中越(長岡)
寿	11月	石沢 建夫	新潟
		伊藤 通子	下越
		相羽 勝	高田
		五十嵐昭一	上越
米	10月	宮尾 源蔵	新潟
		庄司 イツ	新潟
		佐藤 芳男	下越
		阿部 清弘	新津
	11月	佐藤喜美子	新潟
		斉藤 貞子	新潟
		渡辺 一男	新潟

県内全支部の 慶弔者名を掲載します

お悔やみ申し上げます

(2019年10月～11月) (敬称略)

月	お名前	支部	ご逝去日
10月	池田 修次	新潟	2日
	相崎 修司	中越(長岡)	5日
	藤井與之亮	下越	6日
	岩橋喜美子	新潟	8日
	仲野 好一	中越(長岡)	8日
	上杉 正弘	中越(柏崎)	8日
11月	田村 照子	新潟	1日
	星野 信行	中越(長岡)	7日
	小林 厚雄	中越(長岡)	10日
	宮尾 源蔵	新潟	15日
	早津 春子	上越	19日
	菊池 ミチ	下越	22日
	根立 進	中越(柏崎)	30日